

<報道関係各位>

2026年4月1日

ギリアド・サイエンシズ株式会社

## ギリアド・サイエンシズ株式会社 代表取締役社長交代のお知らせ

—新社長にアンドリュー・ヘクスターが就任—

—アジア、グローバルの双方で事業をけん引—

ギリアド・サイエンシズ株式会社（以下「ギリアド」、本社：東京都千代田区）は、2026年4月1日付で、アンドリュー・ヘクスターが新たな代表取締役社長に就任したことをお知らせします。2022年1月から2026年3月31日まで代表取締役社長を務めたケネット・ブライスティングの後任となります。

ヘクスターは、グローバルやアジア地域におけるバイオ医薬品業界で計20年以上にわたる業務経験があり、そのうち約10年をギリアドで過ごしてきました。2017年にギリアドの香港リージョナルオフィスに入社後、韓国や台湾を含むアジアの5カ国・地域を統括するバイスプレジデント兼ジェネラル・マネジャーとして、全ての事業領域を率いました。2021年には米国本社に異動し、バイスプレジデント兼プログラム戦略リーダーとして、世界初のHIVカプシド阻害剤である「レナカパビル」を担当しました。同剤は、科学誌「Science」により2024年の「ブレークスルー・オブ・ザ・イヤー」に選出され、2025年には、世界のHIV流行に変革をもたらす可能性が評価された結果、米国のプリ・ガリアン賞（Prix Galien USA Award）の最優秀医薬品賞（Best Pharmaceutical Product）も受賞しています。ヘクスターは、直近ではグローバル・コマーシャル・プロダクト・ストラテジー（HIV）担当のバイスプレジデントとして、HIVの治療と予防に関する製品やパイプラインを含むHIVポートフォリオのグローバル・マーケティング戦略を統括してきました。

今回の就任にあたり、ヘクスターは次のようにコメントしています。「これまでギリアドを含め、長年にわたりアジアで生活し、働いてきました。このたび、日本法人、そして日本の素晴らしいチームを率いることを大変楽しみにしています。当社には、HIV、オンコロジー、肝炎、COVID-19、炎症といった全ての事業領域において、多くの方々に貢献できる革新的なイノベーションがあります。日本において、同僚やさまざまなステークホルダーの皆様と協力し、これらのイノベーションを患者さんやコミュニティに届けていきます」

## アンドリュー・ヘクスター



### 経歴

- 2002年～2008年 シェリング・プラウ社（米国、フィリピン、韓国）
- 2009年～2015年 アッヴィ合同会社（香港、米国）
- 2016年～2017年 セルジーン社（韓国）
- 2017年～2021年 ギリアド・サイエンシズ（香港）  
バイスプレジデント兼ジェネラル・マネジャー
- 2021年～2024年 ギリアド・サイエンシズ（米国）  
バイスプレジデント兼プログラム戦略リーダー（レナカパビル）
- 2024年～ ギリアド・サイエンシズ（米国）  
バイスプレジデント兼グローバル・コマーシャル・プロダクト・  
ストラテジー担当（HIV）

### 学歴

- シラキュース大学（米国）にて国際関係学士号取得
- アリゾナ州立大サンダーバード大学院（Thunderbird School of Global Management、米国）にてMBA取得

### ギリアド・サイエンシズについて

ギリアド・サイエンシズは、全ての人々にとって、より健康な世界の実現を目指し、35年以上にわたり医療の革新を追求し、飛躍的な進歩を遂げてきたバイオ医薬品企業です。当社は、HIV、ウイルス性肝炎、COVID-19、がん、炎症性疾患といった生命を脅かす疾患の予防と治療のため、革新的な医薬品の開発に取り組んでいます。また、世界中の患者さん

が当社の科学的イノベーションの恩恵を受けられるよう、グローバルな投資を継続しながら、次の時代の科学的発見、雇用創出、公衆衛生への備えを支えるため、米国での事業基盤をさらに強化する 3,200 億ドル規模の投資計画を 2025 年に発表しました。当社はカリフォルニア州フォスターシティに本社を置き、世界 35 カ国以上で事業を行っています。